

令和9年度香川県公立学校教員採用選考試験実施要項

香川県教育委員会
高松市教育委員会

1 試験の目的

この試験は、令和9年度の香川県公立学校教員（高松第一高等学校教員を含む。）の採用に当たっての選考資料を得るために実施するものである。

このような先生を求めています

- 教育に対する情熱をもち、素養と資質を備えた教員
- 専門的な知識・技能と指導力を有し、社会変化や教育課題に適切に対応できる教員
- 連携・協働しながら学校運営に積極的に参画する教員

〈受付期間・選考試験日〉

受付期間	インターネット	令和8年5月1日(金)～5月28日(木) 17:00まで	
選 試 験 日	第1次選考試験	筆記試験等	7月18日(土)～7月19日(日)* ¹
		面接試験	7月18日(土)、7月20日(月・祝)、 7月21日(火)、7月25日(土)* ² のうち、指定された1日
	第2次選考試験	面接試験等	8月19日(水)～8月23日(日)、 8月25日(火)* ² のうち、指定された1日

*1 7月19日(日)(第1次選考試験)は、香川会場のほか、大阪会場でも実施する。(小専願者対象)

*2 7月25日(土)(第1次選考試験)と8月23日(日)(第2次選考試験)は大阪会場で実施する。(小・中志願者対象)

※天災等により公共交通機関に著しい乱れが生じるおそれがある場合、選考試験の日程や内容を変更することがある。その際には、香川県教育委員会のホームページに詳細を掲載する。

※「秋募集」の要項及び詳細については、8月下旬に公表予定(4ページ参照)。

2 試験を実施する校種等

(1) 教諭

種別	勤務する学校	教科・科目	採用予定数	併願可能種別
小	市町立小学校		237名 程度	中
中	市町立中学校	国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健体育 技術 家庭 英語		小
高	県立高等学校 (特別支援学校高等部を含む) 高松市立高等学校	国語 日本史 地理 公民 数学 物理 化学 生物 保健体育 音楽 美術 英語 家庭 商業 農業 電気 建築 工業化学 インテリア 土木(工・農) 水産(航海・ 機関) 水産(食品・栽培) 看護 理療	79名 程度	
特支	県立特別支援学校(小学部)			
	県立特別支援学校(中学部)	市町立中学校と同じ		
	県立特別支援学校(高等部)	県立高等学校と同じ		

(2) 養護教諭

種別	勤務する学校	採用予定数	併願可能種別
養教(小中)	市町立小学校・中学校	9名程度	養教(高特)
養教(高特)	県立高等学校・特別支援学校		養教(小中)

(3) 栄養教諭

種別	勤務する学校	採用予定数
栄教*	市町立小学校・中学校	2名程度

* 第2次選考試験合格者は、市町立小学校教員、市町立中学校教員のいずれかに採用される。

※ 大学3年生先行受験については、上記にない種別・教科・科目への受験も選択できる。

3 出願資格

学校教育法第9条及び地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当しない者であって、次の(1)～(7)の選考区分ごとに掲げる条件のいずれにも該当する者であること。

令和8年12月25日に施行予定の学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律第2条第8項に規定する「特定性犯罪事実該当者」に該当しない者であること。

出願可能な校種等	一般選考	特別選考Ⅰ※ ¹										特別選考Ⅱ (障害者を対象とした選考)	特別選考Ⅲ (他の都道府県の現職者) ※ ²	特別選考Ⅳ (大学等推薦者) ※ ²	特別選考Ⅴ (前年度第一次選考試験に合格した本県講師等) ※ ²	大学3年生先行受験 (総合教養のみ受験可能)
		①民間企業等経験者	②本県／他の都道府県の元職者	③本県／他の都道府県の現職者	④現に本県実習助手又は寄宿舎指導員	⑤本県講師等経験者	⑥複数免許所有者	⑦一定の英語力をもつ者	⑧国内の教職大学院修了者又は修了予定者	⑨各種競技大会、コンクール、展覧会等における実績者	⑩大学3年生先行受験通過者					
小学校※ ³	●		●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	▲
中学校※ ³	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	▲
高等学校	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●			▲
特別支援学校	●	●	●	●	●	●			●		●	●	●			▲
養護教諭※ ³ 栄養教諭	●	●	●	●	●	●					●	●				▲

※1 特別選考Ⅰ：第1次選考試験の総合教養が免除される。

※2 特別選考Ⅲ～Ⅴ：第1次選考試験のすべてが免除される。

※3 併願は、①小学校と中学校、②養護教諭（小中）と養護教諭（高特）の組み合わせに限り可能とする。ただし、①については特別選考Ⅲ・Ⅳを除くが、一般専攻と特別選考Ⅳの併願は可能とする。

それぞれの詳細は後述のとおり。

(1) 一般選考

ア 次の①・②のいずれかに該当する者

① 教育職員免許法により授与される各相当の普通免許状を有する者又は令和9年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者

② 教諭、養護教諭又は栄養教諭を志願する者で、民間企業等において通算3年以上の勤務経験※¹（教育に関する職務を除く。）を有し教員免許状を保有していない者で、令和11年3月31日までに当該免許状を取得する意思のある者※²

※1 勤務経験には、独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊等としての活動経験を含めることができる（廃止前の国際協力事業団法の規定に基づく活動経験を含む。）。

※2 第1次選考試験及び第2次選考試験をすべて受験した上で合格した者に対し、当該教員免許状を取得するための猶予期間を最大2年間認める。

〔「高」の電気、建築、工業化学、インテリアに出願できる者は、高等学校の工業の普通免許状を有する者でなければならない。
「高」の土木（工・農）に出願できる者は、高等学校の工業又は農業の普通免許状を有する者でなければならない。
「高」の水産（航海・機関）にあっては、高等学校の商船についての普通免許状を有する者も出願できる。
「高」の商業に出願できる者は、高等学校の情報の普通免許状を有する者でなければならない。
「特支」の小学部、中学部、高等部に出願できる者は、特別支援学校の普通免許状のほか、特別支援学校の各部に相当する学校の普通免許状を有する者でなければならない。〕

イ 昭和40年4月2日以後に生まれた者

(2) 特別選考Ⅰ 以下のア～ウのいずれにも該当する者は、第1次選考試験の総合教養を免除する。

ア 次の①～⑩のいずれかに該当する者

① 教諭（中学校、高等学校又は特別支援学校に限る。）、養護教諭又は栄養教諭を志願する者で、民間企業等において通算3年以上の勤務経験※¹（教育に関する職務を除く。）を有し、その勤務経験により、出願教科・科目等に関する高度の専門的な知識又は技能を有すると認められる者

② 過去において本県又は他の都道府県の公立学校又は国立大学附属学校、私立学校の教諭等（校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭を含む。）、養護教諭又は栄養教諭の職にあった者

③ 現に本県又は他の都道府県の公立学校又は国立大学附属学校、私立学校の教諭等（校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭を含む。）、養護教諭又は栄養教諭の職にある者（ただし、特別選考Ⅲに出願する者を除く。）

④ 現に本県公立学校において、実習助手又は寄宿舎指導員の職（臨時又は非常勤の者を除く。）に5年以上ある者

- ⑤ 本県の国公立の小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校で、講師等^{※3}として、令和4年4月1日から令和8年5月28日までに、通算13か月以上の勤務実績（異校種の勤務実績を合算することができる。）がある者
- ⑥ 小学校又は中学校の教諭を志願する者のうち、本県の国公立の小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校で、講師等^{※3}として、令和7年4月1日から令和8年5月28日までに、1か月以上の勤務実績がある者で、次の（A）又は（B）のいずれかに該当する者。ただし、（A）については、同じ校種・教科の免許状（専修、1種、2種）は除く。
- （A）出願時に、小学校、中学校又は特別支援学校の普通免許状のうち、2つ以上を有している者
- （B）出願時に、複数の教科の中学校の普通免許状を有している者
- ⑦ 小学校の教諭を志願する者のうち、次の（A）に該当し、かつ（B）又は（C）のいずれかに該当する者
- （A） 次の〔a〕～〔c〕のいずれかに該当する者 **必須**
- 〔a〕 中学校又は高等学校の英語の普通免許状を有する者
- 〔b〕 英語を母語とする者又はヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）B2相当以上の英語力を有する者
- 〔c〕 海外大学又は青年海外協力隊若しくは在外教育施設等で、24か月以上の英語を使用した留学又は勤務の経験がある者
- （B） 本県の国公立小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校において、講師等^{※3}として、令和4年4月1日から令和8年5月28日までに、通算12か月以上の勤務経験がある者
- （C） 本県の国公立小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校において、外国語指導助手として、令和4年4月1日から令和8年5月28日までに、通算24か月以上の勤務経験がある者
- ⑧ 高等学校又は特別支援学校の教諭を志願する者のうち、国内の教職大学院を修了した者又は令和9年3月31日までに修了見込みの者
- ⑨ 小学校、中学校又は高等学校の教諭を志願する者のうち、その実績により、出願教科・科目等に関する高度の専門的な知識又は技能を有すると認められる者^{※4}
- ⑩ 前年度までに実施された本県教員採用選考試験において、大学3年生先行受験を受験し、通過の判定となった者（ただし、この特別選考によって、第1次選考試験の総合教養の免除を受けたことがある者を除く。）
- ※3 任期付職員若しくは臨時的任用職員として勤務している講師、養護助教諭、学校栄養職員又は会計年度任用職員（週30時間以上）として勤務している講師をいう。
- ※4 次に示すような実績に基づき、専門的な知識・技能の有無を判断する。
- ・スポーツの分野において優秀な実績を有する者（国際大会への出場等）、又はこれらの者を指導育成した実績を有する者
 - ・修士号、博士号等の学位の保有者
 - ・各種競技大会、コンクール、展覧会等における実績者
- イ (1)一般選考のア①に示す要件を満たす者。ただし、特別選考Ⅰ①、⑦又は⑨に該当する者^{※5}にあつては、特別免許状の授与資格を有する場合は、当該普通免許状の取得又は取得見込みがなくても受験できるものとする。
- また、特別選考Ⅰ⑥については、教育職員免許法により授与される各相当の普通免許状を有する者とする。
- なお、養護教諭又は栄養教諭の出願者については、各相当の普通免許状を有する者でなければならない。
- ※5 特別選考Ⅰ①、⑦又は⑨で出願を希望する場合は、事前に出願資格の有無について問い合わせること。
- なお、特別免許状（9ページ参照）の授与資格を有する場合は、当該普通免許状の取得又は取得見込みがなくても受験できる。

ウ 昭和40年4月2日以後平成20年4月1日以前に生まれた者

(3) 特別選考Ⅱ（障害者を対象）

- ア 身体障害者手帳（1級から6級）、療育手帳（○AからB）又は精神障害者保健福祉手帳（1級から3級）（以下、「身体障害者手帳等」という。）の交付を受けた者
- イ (1)一般選考のア①に示す要件を満たす者。ただし、特別選考Ⅰ①、⑦又は⑨に該当する者にあつては、特別免許状の授与資格を有する場合は、当該普通免許状の取得又は取得見込みがなくても受験できるものとする。
- ウ 昭和40年4月2日以後平成20年4月1日以前に生まれた者

(4) 特別選考Ⅲ（他県で現職にある者を対象）

以下のア～ウのいずれにも該当する者は、第1次選考試験のすべてを免除する。

- ア 現に他の都道府県の公立学校の教諭等（校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭を含む。）の職にある者で、小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校の教諭を志願する者。ただし、出願時と同一の種別、教科・科目に限り出願できることとする。
- イ (1)一般選考のア①に示す要件を満たす者
- ウ 昭和40年4月2日以後平成11年4月1日以前に生まれた者

(5) 特別選考Ⅳ（大学等から推薦を受けた者を対象）

以下のア～ウのいずれにも該当する者は、第1次選考試験のすべてを免除する。

ア 小学校又は中学校教諭を志願する者のうち、小学校又は中学校一種（専修）普通免許状取得のための課程認定^{※6}を受けており、通信制の課程によらない大学、大学院又は教職大学院に在籍^{※7}し、推薦条件^{※8}を満たし、学長等が推薦する者

※6 大学間の協定に基づき、他大学等の科目履修により募集する校種・教科の免許状が取得できる場合は、課程認定を受けている大学とみなす。

※7 令和9年3月に大学卒業見込み又は大学院修了見込みであること。

※8 詳細は、別途「令和9年度香川県公立学校教員採用選考試験大学等推薦特別選考実施要項」を参照すること。

イ (1)一般選考のア①に示す要件を満たす者

ウ 昭和40年4月2日以後に生まれた者

(6) 特別選考Ⅴ（前年度第1次選考試験に合格した本県講師等を対象）

以下のア～エのいずれにも該当する者は、第1次選考試験のすべてを免除する。

ア 小学校又は中学校教諭を志願する者のうち、令和8年度（令和7年度実施）香川県公立学校教員採用選考試験において、第1次選考試験に合格した者（ただし、前年度と同一校種、教科を受験する者に限る。）

イ 令和8年度、本県の国公立の小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校で講師等^{※3}として勤務^{※9}する者

※9 令和8年4月1日から令和8年5月28日までの間に、勤務実績（任用予定を含む。）がある者をいう。

ウ (1)一般選考のア①に示す要件を満たす者

エ 昭和40年4月2日以後に生まれた者

(7) 大学3年生先行受験（大学3年次に在籍する者を対象）

以下のア、イのいずれにも該当する者は、第1次選考試験における総合教養のみを受験することができ、これに通過した場合は、4年次以降に受験する第1次選考試験における総合教養を1回に限り免除する。

ア 教育職員免許法により授与される各相当の普通免許状を有する者又は令和10年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者

イ 昭和41年4月2日以後に生まれた者

4 加点申請制度

次の加点要件を満たした者には、第1次選考試験の総合成績に加点する。ただし、(2)(3)については、いずれか一方のみの加点とする。

	加点要件	点数
(1)	中学校教諭に出願する者で、出願時に、「美術」「技術」「家庭」のいずれかを含む複数の中学校教諭普通免許状を有する者、又は令和9年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者	5点
(2)	高等学校教諭に出願する者で、出願時に、出願に必要な教科以外の教科の高等学校教諭普通免許状を有する者、又は令和9年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者 ただし、次の(A)、(B)に該当する場合を除く。 (A) 地理歴史科又は公民科の科目に出願する者で、地理歴史の高等学校教諭普通免許状と公民の高等学校教諭普通免許状の2つを有している者 (B) 出願する教科の高等学校教諭普通免許状と当該教科の実習を担当する教諭の免許状の2つを有している者	5点
(3)	高等学校教諭に出願する者で、出願時に、特別支援学校普通免許状を有する者、又は令和9年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者	5点

加点を希望する場合は、出願時に願書の加点申請制度の項目で「希望する」を選択した上で、免許状（又は免許状の取得見込み証明書）の写しを郵送にて提出すること。また、第1次選考試験当日に免許状（又は免許状の取得見込み証明書）の原本を持参し提示する必要がある。原本の提示がない場合、加点することはできない。

なお、令和9年3月31日までに加点対象となる免許状が取得できなかった場合は、第2次選考試験に合格していても、採用を取り消す場合がある。

（秋募集について）

次の①②のいずれかに該当する者であって、令和9年度香川県公立学校教員採用選考試験（令和8年7月～8月実施）を受験していない者を対象に秋募集を行う（詳細については、8月下旬にホームページで公表する予定）。

次の①②のいずれかに該当する者であって、令和9年度香川県公立学校教員採用選考試験（令和8年7月～8月実施）を受験していない者を対象に秋募集を行う（詳細については、8月下旬にホームページで公表する予定）。

① 小学校又は中学校教諭を志願する者のうち、現に他の都道府県の公立学校の教諭等（校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭を含む。）の職（正規職員に限る。）にある者。ただし、出願時の職と同一の校種、教科に限り出願できるものとする。

② 小学校又は中学校教諭を志願する者のうち、小学校又は中学校一種（専修）普通免許状取得のための課程認定を受けており、通信制の課程によらない大学、大学院又は教職大学院に在籍し、推薦条件を満たし、学長等が推薦する者

〈受験時の特別措置について〉

身体に障害があるなどの理由で、特別な配慮を必要とする者の受験に当たっては、障害の内容や程度に応じて、受験教室等を配慮するほか、試験内容の一部を免除することがあるので、希望する事項を願書の「受験上の配慮を希望する事項」欄に記入し、事前に相談すること。

〈日本国籍を有しない者について〉

日本国籍を有しない者は、採用時に従事可能な在留資格が必要である。また、採用後は、児童生徒の教育指導に専任することとし、公立学校職員の給料等の支給に関する規則第21条に規定する教務主任等の職務を行うことや、香川県教育委員会が実施する昇任試験を受験することはできない。

5 出願手続

出願方法は原則としてインターネットによる出願(電子申請)のみとします。
※特段の事情によりインターネットによる出願が困難な場合は、お問い合わせください。



(1) 出願方法

- ア ①香川県ホームページのトップページ (<https://www.pref.kagawa.lg.jp/index.html>) にある「ページID検索」で、「2073」(半角数字)を入力し、「電子申請・施設利用申込」のページにアクセスする。
- ②「電子申請・届出サービス」にアクセスし、「新規登録」から利用者情報を登録した後、出願の申請手続を行う(サポートの「ヘルプ」を参照)。
- なお、複数の者で共有するメールアドレス(例えば、職場の代表メール)は登録に使用しないこと。
また、電子申請フォームは、以下の4種類があるため、出願区分で該当するものを選択し、当該手続画面から入力を行うこと。

令和9年度香川県公立学校教員採用選考試験(小・中・養教・栄教)【一般選考、特別選考1～5】

令和9年度香川県公立学校教員採用選考試験(高・特支)【一般選考、特別選考1～3】

令和9年度香川県公立学校教員採用選考試験(小・中・養教・栄教)【大学3年生先行受験】

令和9年度香川県公立学校教員採用選考試験(高・特支)【大学3年生先行受験】

イ 申請の送信後、1週間以内にメールで「受理通知」又は「補正指示」の返信があるので、メールの確認を怠らないこと。なお、登録後のメールアドレスの変更はできない。

ウ 「補正指示」があった場合、「補正指示」を出した日から6日間を補正期間とするので、5日後の17:00までに指示にしたがって再度申請を行うこと。

〔例〕5月28日に「補正指示」が出た場合、6月2日17:00が再度申請の締切となる。

エ 補正期間内に補正が完了しない場合は、出願を受理できない場合がある。

オ 受験票のダウンロードの通知は、7月上旬に送信する予定である。印刷して試験時に持参すること。

カ 専門教養(英語)の免除を希望する英語志願者及び特別選考Ⅱの志願者は、下記を参照し、必要書類を添付すること。なお、第1次選考試験の7月19日(日)に原本の確認をするので、原本を持参すること。

専門教養(英語)の免除を希望する英語志願者

ファイル添付

以下の条件のいずれかを満たし、第1次選考試験における専門教養(英語)の受験免除を希望する英語志願者は、資格を証明できる書類の写し(PDFファイル又はJPEGファイル)をインターネットによる出願時に添付すること。

※いずれも令和3年4月1日以降の取得に限る。出願後に取得したものは認めない。

実用英語技能検定((公財)日本英語検定協会)	1級合格	TOEFL(ETS Japan 合同会社)	iBT 92点以上
TOEIC((一財)国際ビジネスコミュニケーション協会) ※公開テストによるスコアのみを対象とする	850点以上	IELTS((公財)日本英語検定協会)	7.0点以上

特別選考Ⅱの志願者

ファイル添付

特別選考Ⅱの志願者は、願書の「身体障害者手帳等」欄に級別・判定区分及び障害名を入力し、その手帳の写し(PDFファイル又はJPEGファイル)をインターネットによる出願時に添付すること。

(2) 受付期間

令和8年5月1日(金) から令和8年5月28日(木) 17:00 まで

(3) 願書入力上の注意

◆入力に不備がある場合は、受け付けないことがある。入力後、PDFプレビュー(10ページ参照)で内容確認すること。

6 特別選考Ⅰ、Ⅲ～Ⅴの出願及び加点申請制度に必要な提出書類

(1) 特別選考Ⅰ、Ⅲ～Ⅴ出願の提出書類

◆提出書類に不備がある場合は受理できない場合があるので、十分注意すること。なお、提出した書類は返還しない。

ア 特別選考Ⅰ①

- ・用紙2「自己アピール文（日本語）」（12 ページ参照）

※特別選考Ⅰ①については、上記を出願時に提出するほか「勤務先推薦書」を第2次選考試験時に提出する。様式は問わないが、業務内容や勤務状況等、在勤時の様子が記載されているもの。

イ 特別選考Ⅰ②

- ・他の都道府県の公立学校又は国立大学附属学校、私立学校の教諭等、養護教諭又は栄養教諭の職にあった者については、任命権者（公立学校にあっては都道府県等の教育委員会、国立大学附属学校にあっては当該国立大学附属学校の学長、私立学校にあっては当該学校法人の理事長）が発行する「履歴証明書」

ウ 特別選考Ⅰ⑤

- ・用紙3「令和9年度 講師等を対象とした特別選考による受験申請書」（13・14 ページ参照）
※令和4年4月1日から令和8年5月28日までの期間のうち、13か月以上の勤務歴を記載すること。
- ・用紙3に記載した勤務歴において発令庁が香川県教育委員会でない場合は、用紙4「在職証明書」（15 ページ参照）

エ 特別選考Ⅰ⑥

- ・用紙3「令和9年度 講師等を対象とした特別選考による受験申請書」（13・14 ページ参照）
※令和7年4月1日から令和8年5月28日までの期間のうち、1か月以上の勤務歴を記載すること。
- ・用紙3に記載した勤務歴において発令庁が香川県教育委員会でない場合は、用紙4「在職証明書」（15 ページ参照）
- ・3ページに示した（A）又は（B）のいずれかについて、教育職員免許法により授与される各相当の普通免許状の写し【第1次選考試験の7月19日（日）に原本を確認するので、原本を持参すること】

オ 特別選考Ⅰ⑦

- ・用紙2「自己アピール文（日本語）」（12 ページ参照）
- ・3ページに示した（A）を証明する書類の写し（[a]については、教育職員免許法により授与される各相当の普通免許状の写し）【第1次選考試験の7月19日（日）に原本の確認をするので、原本を持参すること】
- ・用紙3「令和9年度 講師等を対象とした特別選考による受験申請書」（13・14 ページ参照）
※3ページに示した（B）に該当する者は、令和4年4月1日から令和8年5月28日までの期間のうち、12か月以上の勤務歴を記載すること。
※3ページに示した（C）に該当する者は、令和4年4月1日から令和8年5月28日までの期間のうち、24か月以上の勤務歴を記載すること。・用紙3に記載した勤務歴において発令庁が香川県教育委員会でない場合は、用紙4「在職証明書」（15 ページ参照）
- ・用紙3に記載した勤務歴において発令庁が香川県教育委員会でない場合は、用紙4「在職証明書」（15ページ参照）

※3ページに示した（C）に該当する者は、上記を出願時に提出するほか「勤務先推薦書」を第2次選考試験時に提出する。様式は問わないが、業務内容や勤務状況等、在勤時の様子が記載されているもの。

カ 特別選考Ⅰ⑧

- ・教職大学院が発行する「教職大学院修了証明書」（在学中の場合は、「教職大学院修了見込証明書」）

キ 特別選考Ⅰ⑨

- ・用紙2「自己アピール文（日本語）」（12 ページ参照）

ク 特別選考Ⅲ

- ・用紙5「令和9年度 特別選考Ⅲによる受験申請書」（16 ページ参照）
- ・110円切手を貼り、志願者の郵便番号、住所、氏名を記載した長形3号封筒（窓なし12×23.5cm）を2通（20 ページ参照）

ケ 特別選考Ⅳ

- ・110円切手を貼り、志願者の郵便番号、住所、氏名を記載した長形3号封筒（窓なし12×23.5cm）を2通（20 ページ参照）
- ※別途「令和9年度香川県公立学校教員採用選考試験大学等推薦特別選考実施要項」を参照

コ 特別選考Ⅴ

- ・用紙3「令和9年度 講師等を対象とした特別選考による受験申請書」（13・14 ページ参照）
- ・110円切手を貼り、志願者の郵便番号、住所、氏名を記載した長形3号封筒（窓なし12×23.5cm）を2通（20 ページ参照）

(2) **加点申請制度の提出書類**

- ・ 4 ページに示した加点要件を証明する教育職員免許法により授与される各相当の普通免許状（又は免許状の取得見込み証明書）の写し

※第1次選考試験の7月19日(日)に原本の確認をするので、原本を持参すること。

(3) **提出方法 郵送（書留郵便が望ましい）**

封筒の左下隅に「小志願」「中志願」「高志願」「特支志願」「養教志願」「栄教志願」の別を朱書すること。

(4) **提出期間 令和8年5月1日(金)から令和8年6月4日(木)まで 必着**

(5) 郵送先	「小」「中」 「養教」「栄教」	〒760-8582 高松市天神前6番1号 天神前分庁舎（8階） 香川県教育委員会事務局 義務教育課長 宛
	「高」「特支」	〒760-8582 高松市天神前6番1号 天神前分庁舎（7階） 香川県教育委員会事務局 高校教育課長 宛

7 第1次選考試験選考結果発表後に必要な提出書類

(1) **提出書類**

第1次選考試験合格者（第1次選考試験免除者を含む。以下、同じ。）は、用紙1「面接カード」（11ページ参照）を専用ホームページから電子申請により提出すること。なお、電子申請様式の職歴欄が不足する場合は、職歴追加用紙を使って作成すること。

(2) **提出方法**

原則としてインターネットによる提出（電子申請）のみ。第1次選考試験合格者に通知する専用ホームページのURLから手続をすること（特段の事情によりインターネットでの提出が困難な場合は、受験者からの申出により、別途、提出方法を指定する。）。

(3) **提出期間**

第1次選考試験選考結果発表の日から令和8年8月14日(金)17:00まで

8 選考試験（当日の準備物等については、17 ページ、日程、会場については、18、19 ページ参照）

(1) 第1次選考試験

試験の種類		小	中	高	特別支援			養教	栄教	内 容 等
					小	中	高	教	教	
適性検査		○	○	○	○	○	○	○	○	
筆記試験	総合教養	○	○	○	○	○	○	○	○	社会人として身につけておくべき一般的知識・教養及び日本と国際社会との関わりや資源・環境問題など地球的視野に立って行動していくための基本的な知識・教養・資質並びに教職教養についての基本的な知識
	小学校	○			○					国語、社会、数学、理科、外国語及び外国語活動に関するもの
	各教科等		○	○		○	○	○	○	志願した種別、教科・科目等に関するもの（英語志願者はリスニングテストを含む。）
	特別支援教育				○	○	○			特別支援教育に関する共通問題と、五つの教育領域（視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱）のいずれか一領域の問題を選択
	技術 音楽、美術 家庭、保健体育		○		○					志願したそれぞれの教科・科目等の実技（17 ページの準備物等を参照すること）
実技試験	面接試験 （集団面接）	○	○					○	○	1 グループ5～8名程度 与えられたテーマについての自由討議と個人への質問（30 分間程度）
				○	○	○	○			1 グループ5～8名程度 教育に関するテーマについての自由討議（30 分間程度）

※ 「小」「中」の併願者は、面接はいずれか指定する種別で受験する。

※ 特別選考Ⅰの志願者は総合教養が免除となる。

※ 特別選考Ⅲ～Ⅴの志願者は第1次選考試験のすべてが免除となる。

※ 英語志願者の専門教養（英語）の免除条件等は、5 ページを参照。

(2) 第2次選考試験（第1次選考試験合格者及び特別選考Ⅲ～Ⅴ志願者）

試験の種類		小	中	高	特別支援			養教	栄教	内 容 等
					小	中	高	教	教	
模擬授業		○	○	○	○	○	○	○	○	与えられたテーマ（課題）についての模擬授業と授業に関する質問（15分間程度）
面接試験 （個人面接）		○	○					○	○	第1 面接（10分間程度） 第2 面接（5 分間程度。特別選考Ⅲの志願者は10分間程度）
				○	○	○	○			第1 面接（15分間程度） 第2 面接（10分間程度）
英語志願者に対する 英語面接試験			○	○		○	○			英語による面接（10分間程度）

※ 第1次選考試験で第1志望と第2志望の両方に合格した「小」「中」の併願者は、両方の種別で模擬授業及び面接試験を受験する。

※ 小・中学校教諭、養護教諭、栄養教諭を志願する者については、右の二次元コードから模擬授業の実施方法（内容）について確認のうえ、出願する種別・教科（科目）の模擬授業のテーマ（課題）をもとに学習指導略案を作成し、第2次選考試験当日に4部（A4サイズ）持参する。

URL： <https://www.pref.kagawa.lg.jp/kenkyouui/kokokyoiku/saiyo/kyousyokuin/adoption.html>



(3) 面接、模擬授業等の主な評価の観点

第1次選考試験 面接試験（集団面接）		・ 豊かな人間性、積極性、柔軟性、社会性、協調性などがあるか。
第2次選考試験	模擬授業	・ 授業のねらいを的確にとらえ、適切な言葉でわかりやすく指導できているか。 ・ 児童生徒の意欲や関心を引き出し、課題解決へと導く工夫がみられるか。 ・ 表現力が豊かで、児童生徒をひきつける魅力があるか。
	面接試験 （個人面接）	・ 教育に対する情熱をもち、教員としての素養と資質が備わっているか。 ・ 専門的な知識・技能と指導力を有し、社会変化や教育課題に適切に対応する力があるか。 ・ 連携・協働しながら学校運営に積極的に参画する力があるか。
	英語志願者に対する 英語面接試験	・ 相手の意向や考え方を正確に聞き取る力があるか。 ・ 英語で自分の意向や考え方を正確に伝える力があるか。 ・ 英語教育に関する知識・技術をもち、英語教員としての指導力があるか。

9 選考結果の通知及び採用

- (1) 第1次選考試験の選考結果は、令和8年8月上旬に香川県教育委員会教育長から受験者全員に通知する。また、合格者の種別及び受験番号を香川県庁東館玄関前の掲示板（以下、掲示板）に掲示するとともに、香川県教育委員会のホームページに掲載する。
- (2) 第2次選考試験の選考結果は、令和8年9月中旬に香川県教育委員会教育長から第2次選考試験の受験者全員に通知する。また、合格者の種別及び受験番号を掲示板に掲示するとともに、香川県教育委員会のホームページに掲載する。
- (3) 種別によっては、合格者を追加することがある。この場合、追加合格者には香川県教育委員会教育長から随時通知する。また、追加合格者の種別及び受験番号を掲示板に掲示するとともに、香川県教育委員会のホームページに掲載する。
- (4) 選考結果の総合ランク（不合格になった場合に限る。）及び個人得点について情報提供*を行う。希望する者は、願書の情報提供希望欄において「希望する」を、希望しない者は「希望しない」を選択すること。なお、選考結果の総合ランクは、第1次選考試験及び第2次選考試験のそれぞれについて、総合成績を合格者と比較した場合のランク（上位から順にA、B、Cの3区分）とする。

※「大学3年生先行受験」の受験者には総合ランクの情報提供は行わない。

上記の選考結果の総合ランク及び個人得点については、教育委員会事務局の窓口にて口頭により情報提供の請求をすることもできる。この場合、本人確認書類（マイナンバーカード（個人番号カード）*、運転免許証等）が必要となる。情報提供を行う期間は、それぞれの合格発表の日から1週間とする。

※マイナンバー「通知カード」は本人確認書類として利用できない。

- (5) 第2次選考試験の合格者は、令和9年4月1日付けで採用する。なお、特段の事情があると認められた場合に限り、令和10年4月1日以降に採用することもある。
- (6) 令和8年12月25日に施行予定の学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律に基づき、特定性犯罪の前科の有無を確認するための犯罪事実確認を行う。

10 大学院在学に係る採用時の特例

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の第2次選考試験合格者のうち、受験した種別、教科・科目等の専修免許状を取得できる大学院修士課程等（教職大学院の修士課程を含む。）に入学し、修学を希望する場合、2年間の採用猶予を申し出ることができる。同様に、受験した種別、教科・科目等の専修免許状を取得できる大学院修士課程等（教職大学院の修士課程を含む。）に在籍している者が、引き続き修学を希望する場合、1年間の採用猶予を申し出ることができる。いずれの場合も、第2次選考試験の合格後に送付される通知に記載された期日までに、大学院修士課程等での修学又は修学継続を理由とする採用猶予の希望を表明し、その後、指定された期日までに、「採用猶予申出書」と必要書類を提出し、許可を得る必要がある。

なお、猶予後の採用に当たっては、猶予期間終了までに次の2つの条件を満たす必要がある。

- 大学院修士課程等を修了すること。
- 令和9年度香川県公立学校教員採用選考試験に合格した種別、教科・科目等の専修免許状を取得すること。

11 給与及び勤務時間等

- (1) 初任給月額について四年制大学新卒の教諭で例示すれば、令和8年4月1日時点では、287,587円（教職調整額及び地域手当を含む。）である。このほかに義務教育等教員特別手当、期末手当及び勤勉手当が支給される。また、支給要件に該当する者には、扶養手当、通勤手当、住居手当等も支給される。
- (2) 勤務は原則として月曜日から金曜日までの5日間、1日7時間45分である。ただし、校種によっては変則勤務をすることがある。
- (3) 山間、島しょ部の学校に勤務することがある。

12 特別免許状について

特別免許状は、様々な分野において優れた知識や技術を有する社会人を学校教育に迎え入れ、学校教育の活性化を図る観点から、平成元年4月より設けられた制度である。特別免許状は、都道府県教育委員会が実施する教育職員検定に合格した者に授与され、その都道府県内においてのみ効力を有することとなっている。この教育職員検定の実施については、教育職員免許法において次のように規定されている。

教育職員免許法第5条第3項

前項の教育職員検定は、次の各号のいずれにも該当する者について、教育職員に任命し、又は雇用しようとする者が、学校教育の効果的な実施に特に必要があると認める場合において行う推薦に基づいて行うものとする。

- (1) 担当する教科に関する専門的な知識経験又は技能を有する者
- (2) 社会的信望があり、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者

香川県教育委員会では、これらの基礎資格を有する者が特別選考Ⅰ①、⑦又は⑨によって採用内定した場合に、教育職員検定の実施に必要な任命権者としての推薦を行うこととしている。

インターネットによる出願（電子申請） 以下の PDF プレビュー画面で内容確認すること

令和 9 年度香川県公立学校教員採用選考試験 願書

入力例

「特別選考Ⅰ～Ⅴ」は、電子申請画面では「特別選考１～５」と表示されます		第 1 志望 <table border="1"> <tr> <th>選考区分</th> <th>種 別</th> </tr> <tr> <td>☐ 一般 ()</td> <td>☐ 小 ☐ 養教(小中) ☐ 特支小</td> </tr> <tr> <td>☒ 特別Ⅰ (5)</td> <td>☒ 中 ☐ 養教(高特) ☐ 特支中</td> </tr> <tr> <td>☐ 特別Ⅱ ☐ 特別Ⅲ</td> <td>☐ 高 ☐ 栄教 ☐ 特支高</td> </tr> <tr> <td>☐ 特別Ⅳ ☐ 特別Ⅴ</td> <td>☐ 大学 3 年生先行</td> </tr> </table>		選考区分	種 別	☐ 一般 ()	☐ 小 ☐ 養教(小中) ☐ 特支小	☒ 特別Ⅰ (5)	☒ 中 ☐ 養教(高特) ☐ 特支中	☐ 特別Ⅱ ☐ 特別Ⅲ	☐ 高 ☐ 栄教 ☐ 特支高	☐ 特別Ⅳ ☐ 特別Ⅴ	☐ 大学 3 年生先行	第 2 志望 <table border="1"> <tr> <th>選考区分</th> <th>種 別</th> </tr> <tr> <td>☒ 一般</td> <td>☒ 小</td> </tr> <tr> <td>☐ 特別Ⅰ</td> <td>☐ 中</td> </tr> <tr> <td>☐ 特別Ⅱ ☐ 特別Ⅲ</td> <td>☐ 養教(小中)</td> </tr> <tr> <td>☐ 特別Ⅳ ☐ 特別Ⅴ</td> <td>☐ 大学 3 年生先行</td> </tr> </table>		選考区分	種 別	☒ 一般	☒ 小	☐ 特別Ⅰ	☐ 中	☐ 特別Ⅱ ☐ 特別Ⅲ	☐ 養教(小中)	☐ 特別Ⅳ ☐ 特別Ⅴ	☐ 大学 3 年生先行	受験 英語	
選考区分	種 別																										
☐ 一般 ()	☐ 小 ☐ 養教(小中) ☐ 特支小																										
☒ 特別Ⅰ (5)	☒ 中 ☐ 養教(高特) ☐ 特支中																										
☐ 特別Ⅱ ☐ 特別Ⅲ	☐ 高 ☐ 栄教 ☐ 特支高																										
☐ 特別Ⅳ ☐ 特別Ⅴ	☐ 大学 3 年生先行																										
選考区分	種 別																										
☒ 一般	☒ 小																										
☐ 特別Ⅰ	☐ 中																										
☐ 特別Ⅱ ☐ 特別Ⅲ	☐ 養教(小中)																										
☐ 特別Ⅳ ☐ 特別Ⅴ	☐ 大学 3 年生先行																										
■小・中学校志願者のみ入力 以下の試験会場での受験を希望します。 <table border="1"> <tr> <td>第 1 次選考試験 (筆記試験等)</td> <td> ☐ 香川会場 (7/19) ☐ 大阪会場 (7/19) ☐ どちらの会場でもよい </td> <td>第 1 次選考試験 (面接試験)</td> <td> ☒ 香川会場 (7/20又は7/21) ☐ 大阪会場 (7/25) ☐ どちらの会場でもよい </td> <td>第 2 次選考試験 (面接試験等)</td> <td> ☒ 香川会場 (8/19) ☐ 大阪会場 (8/23) ☐ どちらの会場でもよい </td> </tr> </table>						第 1 次選考試験 (筆記試験等)	☐ 香川会場 (7/19) ☐ 大阪会場 (7/19) ☐ どちらの会場でもよい	第 1 次選考試験 (面接試験)	☒ 香川会場 (7/20又は7/21) ☐ 大阪会場 (7/25) ☐ どちらの会場でもよい	第 2 次選考試験 (面接試験等)	☒ 香川会場 (8/19) ☐ 大阪会場 (8/23) ☐ どちらの会場でもよい																
第 1 次選考試験 (筆記試験等)	☐ 香川会場 (7/19) ☐ 大阪会場 (7/19) ☐ どちらの会場でもよい	第 1 次選考試験 (面接試験)	☒ 香川会場 (7/20又は7/21) ☐ 大阪会場 (7/25) ☐ どちらの会場でもよい	第 2 次選考試験 (面接試験等)	☒ 香川会場 (8/19) ☐ 大阪会場 (8/23) ☐ どちらの会場でもよい																						
「小」の専願者のみ選択 <table border="1"> <tr> <td>資格</td> <td colspan="5">下記の資格等を取得している者は、英語志願者だけでなく全員入力する。</td> </tr> <tr> <td>級</td> <td>TOEFL (iBT)</td> <td>92 点</td> <td>TOEIC</td> <td>870 点</td> <td>IELTS</td> <td>5.5 点</td> </tr> <tr> <td>取得年</td> <td>令和3 年</td> <td>取得年</td> <td>令和4 年</td> <td>取得年</td> <td>令和5 年</td> <td>取得年</td> <td>令和6 年</td> </tr> </table>						資格	下記の資格等を取得している者は、英語志願者だけでなく全員入力する。					級	TOEFL (iBT)	92 点	TOEIC	870 点	IELTS	5.5 点	取得年	令和3 年	取得年	令和4 年	取得年	令和5 年	取得年	令和6 年	
資格	下記の資格等を取得している者は、英語志願者だけでなく全員入力する。																										
級	TOEFL (iBT)	92 点	TOEIC	870 点	IELTS	5.5 点																					
取得年	令和3 年	取得年	令和4 年	取得年	令和5 年	取得年	令和6 年																				
「小」、「中」、「養教」の志願者のみ選択 第 1 次選考試験の専門教養 (英語) の免除を希望する																											
「中」、「高」、「特支」中、「特支」高の志願者のみ選択 第 1 次選考試験の総合成績への加点を希望する																											
志 願 者 ふりがな 氏 名		かがわ 香川		たろ 太朗																							
生年月日 平成13年5月1日 生		年 齢 (R9.4.1時点) 25 歳		性 別 男																							
志 願 者 連 絡 先 〒 760-8582 電話 087-****-****		香川県高松市天神前 6 番 1 号 携帯電話 090-****-**** メール ****@*****, **. **																									
上記以外の 連 絡 先 〒 760-8571 電話 087-****-****		香川県高松市番町四丁目 1 番 1 0 号																									
教 員 免 許 状 (司書教諭を含む)		種類・教科等 中 専 英語 (その他種類・教科) 中 1 美術 (その他種類・教科) 小 1 — (その他種類・教科)		種類・教科等 高 専 英語 (その他種類・教科) 司書教諭 (その他種類・教科)																							
学 歴		入学年月 卒業 (見込) 年 月		学校・学部・専攻等 卒業 卒業見込等 修学年数																							
高校 平成29年4月 令和2年3月		香川県立〇〇高等学校・普通科 卒業 3か年		大学 令和3年4月 令和7年3月																							
大学院 令和7年4月 令和9年3月		〇〇大学・教育学部・教育学科 卒業 4か年		大学院 令和7年4月 令和9年3月																							
その他		〇〇大学教職大学院 修了見込 2か年																									
現在の状況 学生		勤務先																									
受験上の配慮を希望する事項 なし		ない場合は「なし」と記載すること 記載内容によっては、確認の連絡をすることがある																									
身体障害者手帳等 級別・判定区分		なし		障害名 なし																							
選考試験の総合ランク・個人得点の情報提供				■ 希望する ☐ 希望しない																							
香川県教育委員会が香川県公立学校での臨時的任用職員 (講師・養護助教諭) 及び非常勤講師等の依頼をするために、願書に記載した個人情報を利用することについて				■ 同意する ☐ 同意しない																							
私は、この試験に必要な受験資格をすべて満たし、かつ、学校教育法第 9 条及び地方公務員法第 16 条の欠格条項に該当していません。また、この願書に記載した事項は事実に相違ありません。 私は、令和 8 年 12 月 25 日に施行予定の学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律第 2 条第 8 項に規定する「特定性犯罪事実該当者」に該当しません。				■ はい																							

(注) 記載事項が事実と相違する場合は、採用される資格を失うことがあります。

令和9年度香川県公立学校教員採用選考試験 面接カード 用紙1

受験番号	第1志望	*****	第2志望	*****	氏名	香川 太朗
教員を志望する理由					教員になって取り組んでみたい事柄	
私が高校時代に…					外国の文化に触れることで…	
具体的に記述					具体的に記述	
卒業論文その他の研究内容及び特に秀でた研究実績					・主題が決まっていない場合は、研究分野などを記入すること ・卒業論文がない場合は、「卒業論文はない」などと記入すること	
主題〔 英語圏における文化の… 〕 内容の概要 世界における英語利用の…					・一般的な言葉を使うこと ・内容がわかるように具体的に記載すること	
部活動歴等	学 校	所属部等	活動内容（成績等も）		特技・資格（免許等）	
	中学校	吹奏楽部	吹奏楽コンクール県大会金賞（3年） 吹奏楽コンクール四国大会銀賞（3年）		図書館司書 学芸員 ドイツ語 中国語	
	高 校	陸上部	県総体400mハードル2位（2年） 四国総体400mリレー優勝（3年） 部長		スポーツ・芸術などの活動において、特に秀でた記録、受賞歴等（国際的又は全国的なものに限る。） 〇〇国際ピアノコンクール2025 第3位	
	大学等	ラグロス同好会	週5回程度練習 四国ラグロス選手権出場 主将 中四国大学ラグロス連盟事務局長		ボランティア・国際貢献などの活動歴 学童ボランティア (R7.9.1～R7.9.30)	
職 歴	期 間		在職年数	職業（勤務先、職名も記入。在家庭、予備校等を含む。）		
	令和2年4月 ～ 令和3年3月		1年	予備校（浪人）		
	令和7年4月 ～ 令和7年4月		1か月	在家庭		
	令和7年5月 ～ 令和8年3月		11か月	〇〇高等学校非常勤講師（週3）		
令和8年4月 ～ 令和8年5月		2か月	〇〇高等学校育休任期付講師			

（注）記載事項が事実と相違する場合は、採用される資格を失うことがあります。

特選Ⅰ①、⑦又は⑨で出願を希望する場合は、事前に
出願資格の有無について必ずお問い合わせください。

自己アピール文

出願する区分に○を付ける。

私は、以下の校種・教科及び出願資格において特別選考Ⅰ（①・⑦・⑨）で出願します。

- 1 校種 小学校・中学校 **高等学校** 特別支援学校・養護教諭・栄養教諭
- 2 教科（**保健体育**）
- 3 出願資格

校種に○を付ける、教科名を書く。

(1)-1 特別選考Ⅰ①又は⑦に係る勤務実績

年 度	勤 務 地	勤 務 状 況

(1)-2 特別選考Ⅰ⑨に係る各種競技大会等における実績

年 度	内 容
例 R7	東京 2025 世界陸上競技選手権大会 女子 100m 予選出場

(2) 教科に関する専門的な知識又は技能経験、教育に関する熱意と識見

※ (1)の実績から、教科に関する専門的な知識又は技能経験に当たる内容について詳しく述べてください。また、自分が勤務することによって、学校にどのような効果を与えることができると考えられるか、具体的に述べてください。

【記入上の注意】

- 1 様式に沿って、内容を精選して記入すること。
- 2 必ずA4判 縦置き 横書き 表裏1枚にまとめること。
- 3 香川県教育委員会のホームページから様式をダウンロードできる。

令和8年5月8日

氏名 讃岐 姫子

(注) 記載事項が事実と相違する場合は、採用される資格を失うことがあります。

令和9年度 講師等を対象とした特別選考による受験申請書

受験番号

令和8年5月 日

第1志望 志望種別 () 受験教科・科目 ()

第2志望 志望種別 () 受験教科・科目 ()

※ 第2志望は併願希望者のみ記入すること

氏名

勤務歴（直近から過去にさかのぼって記入すること。）

在 職 期 間	在職年数	勤務先（学校名）	職名及び勤務形態	発令庁
年 月 日～ 年 月 日	年 月			
年 月 日～ 年 月 日	年 月			
年 月 日～ 年 月 日	年 月			
年 月 日～ 年 月 日	年 月			
年 月 日～ 年 月 日	年 月			
年 月 日～ 年 月 日	年 月			
年 月 日～ 年 月 日	年 月			
年 月 日～ 年 月 日	年 月			
年 月 日～ 年 月 日	年 月			
年 月 日～ 年 月 日	年 月			
年 月 日～ 年 月 日	年 月			

(注) 記載事項が事実と相違する場合は、採用される資格を失うことがあります。

【記入上の注意】

1 受験番号欄は記入しないこと。

2 特選Ⅰ⑤志願者

令和4年4月1日から令和8年5月28日までの期間のうち、13か月以上の勤務歴を記入すること。

特選Ⅰ⑥志願者

令和7年4月1日から令和8年5月28日までの期間のうち、1か月以上の勤務歴を記入すること。

特選Ⅰ⑦志願者

(B)の該当者

令和4年4月1日から令和8年5月28日までの期間のうち、12か月以上の勤務歴を記入すること。

(C)の該当者

令和4年4月1日から令和8年5月28日までの期間のうち、24か月以上の勤務歴を記入すること。

特選Ⅴ志願者

令和8年4月1日から令和8年5月28日までの間の勤務歴（任用予定を含む。）を記入すること。

3 在職年数について、1月のうち1日以上勤務していれば1月として算定する。ただし、勤務終了日と次の勤務開始日が同一月である場合は、その月数は1月とする。

4 職名は下記を参考にして記入すること。

（期限付常勤講師、非常勤講師、産・育休代替講師、病休代替講師、育休任期付職員（講師）など）

5 勤務形態について、常勤・非常勤の別を記入し、非常勤の場合は週あたりの時間数を記入すること。

6 発令庁が香川県教育委員会でない場合は、その該当期間に係る用紙4「在職証明書」をこの用紙とともに提出すること。

7 香川県教育委員会のホームページから様式をダウンロードできる。

（記入例）

勤務歴（直近から過去にさかのぼって記入すること。）					
在 職 期 間	在職年数	勤務先（学校名）	職名及び勤務形態	発令庁	
令和 8年 4月 1日～ 令和 8年 5月28日	0年2月	〇〇市立 △△小学校	非常勤講師 （週30時間）	〇〇市教育委員会	
令和 7年 4月 1日～ 令和 8年 3月31日	1年0月	〇〇市立 △△中学校	期限付常勤講師 （常勤）	〇〇市教育委員会	
令和 6年 8月30日～ 令和 7年 3月19日	0年8月	香川県立 △△高等学校	育休代替講師 （常勤）	香川県教育委員会	
令和 6年 5月20日～ 令和 6年 8月29日	0年4月	香川県立 △△高等学校	産休代替講師 （常勤）	香川県教育委員会	

在 職 証 明 書

(国・市町費関係)

現住所 ○○県○○市○○町○○—○○

氏 名 香川 次郎

(昭和 平成 63年 10月 16日生)

下記の学校において教育職員として勤務したことを証明する。

令和8年 5月 日

証明者 ○○市教育委員会



在 職 期 間	在職年数	勤務先 (学校名)	職名及び勤務形態
令和 8年 4月 1日～ 令和 8年 5月 28日	0年 2月	○○市立△△小学校	非常勤講師 (週30時間)
令和 7年 4月 1日～ 令和 8年 3月 31日	1年 0月	○○市立△△中学校	期限付常勤講師 (常勤)
年 月 日～ 年 月 日	年 月		
年 月 日～ 年 月 日	年 月		

【記入上の注意】

- 証明する期間は、令和4年4月1日から令和8年5月28日までの間のみとする。
- 証明者は、教育委員会等発令者であること。
- 在職年数について、1月のうち1日以上勤務していれば1月として算定する。ただし、勤務終了日と次の勤務開始日が同一月である場合は、その月数は1月とする。
- 職名は下記を参考にして記入すること。
(期限付常勤講師、非常勤講師、産・育休代替講師、病休代替講師、育休任期付職員（講師）など)
- 勤務形態について、常勤・非常勤の別を記入し、非常勤の場合は週あたりの時間数を記入すること。
- 複数の市町等での勤務がある場合は、それぞれで証明すること。
- 香川県教育委員会のホームページから様式をダウンロードできる。

年 月 日		
-------	--	--

令和9年度 特別選考Ⅲによる受験申請書

受験番号

令和8年 5月 日

志望種別 (小) 受験教科・科目 ()

生年月日 昭和・平成 63 年 10 月 16 日生まれ (38) 歳

※ 令和9年4月1日時点

氏名 香川 次郎

勤務歴 (直近から過去にさかのぼって記入すること)

年度	勤務先 (学校名)	職名	担任歴 (人数)	主な分掌	主任等	その他
8	〇〇市立△△小学校	教諭	4年3組 (26)	職員研修	現職教育主任	—
7	〇〇市立△△中学校	教諭	3年8組 (35)	生徒指導	生徒指導主事	—
6	〇〇町立△△小学校	教諭	—	少人数 (~9月1日)	—	育休 (9月2日~)
5	〇〇県立 △△特別支援学校	講師 (常勤)	病弱 (2) 副担任	営繕	—	—
4	【記入上の注意】 1 受験番号欄は記入しないこと。 2 令和8年度からさかのぼって記入すること。 3 職名は、辞令書の職名を記入すること。 講師等の場合は<u>常勤・非常勤</u>の別を記入すること。 4 担任歴は、通常学級、特別支援学級等すべて記入すること。() 内は、児童生徒数を記入すること。 5 産・育休、病休等の場合は、記入例を参考にすること。 6 香川県教育委員会のホームページから様式をダウンロードできる。					
3						
2						
元						
30						
29						
28 以前						—

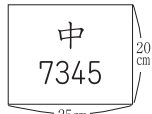
上記の勤務歴でアピールしたい内容があれば下に記入してください。(担任歴、主な分掌、主任等)

〇〇県(市)の教員として、私が最も力を入れて取り組んだことは、……。特に令和7年度には生徒指導主事として……。

(注) 記載事項が事実と相違する場合は、採用される資格を失うことがあります。

令和9年度香川県公立学校教員採用選考試験 当日の準備物等

(1) 第1次選考試験

対 象	教科・科目等	準 備 物 等
全 員	—	・ 受験票 受験票のダウンロードの通知は7月上旬に送信する予定。印刷して持参すること。
	—	・ 封筒1通（第1次選考試験結果通知書の郵送用） 長形3号封筒（窓なし12×23.5cm）に110円切手を貼り、志願者の郵便番号、住所、氏名、受験番号を明記したもの。
	—	・ HBの鉛筆2本以上
英語免除希望	英 語	・ 5ページに示した英語に関する資格を証明できる書類【原本】
特別選考Ⅱ	—	・ 身体障害者手帳等【原本】
特別選考Ⅰ⑥	—	・ 3ページに示した資格を証明する教員免許状【原本】
特別選考Ⅰ⑦	—	・ 3ページに示した（A）を証明する書類【原本】
加点申請者	—	・ 4ページに示した加点要件を証明する教員免許状（又は免許状の取得見込み証明書）【原本】
「中」及び「特支」中	理 科	・ 15cm程度の直定規
	音 楽	・ 中学校で使用される教科用図書に掲載されている調性による、「早春賦（変ホ長調）（吉丸一昌作詞 中田章作曲）」及び「夏の思い出（ニ長調）（江間章子作詞 中田喜直作曲）」の弾き歌い用の伴奏楽譜（移調は認めない。） 【当日指定された1曲について、ピアノ伴奏をしながら主旋律を歌う。】
	美 術	・ デッサン用鉛筆、消しゴム（ネリ消しゴムが望ましい。）、直定規、コンパス
	保健体育	・ 全員：トレーニングウェア、運動靴（運動場用及び体育館用） 及びゼッケン2枚（25cm×20cmの白布に黒マジックで種別と受験番号を記入したもの）実技を行う服装の胸背部に縫い付けておく。（柔道衣については上衣の背部に縫い付けておく） 例）  ・ 柔道選択者：柔道衣一式（上衣、ズボン、帯） ・ 剣道選択者：面下又は手ぬぐい 【陸上競技、球技の2領域及び武道（柔道・剣道を選択）又はダンスの1領域の実技試験】
	技 術	・ 電卓（プログラム機能は使用できない。）、直定規
	家 庭	・ 裁縫用具一式、白衣又はかっぽう着、三角巾、手ふき
	保健体育	・ 「中」及び「特支」中の保健体育に同じ
「高」及び「特支」高	音 楽	・ ピアノ以外の必要な楽器及び伴奏が必要な場合の伴奏者（志願者が準備すること） 【ピアノ伴奏による初見視唱奏の実技試験及び専攻実技試験：任意の1曲を演奏する。ただし、作曲、指揮又は電子オルガン等の鍵盤楽器専攻の志願者は、歌、ピアノ、管弦打楽器又は和楽器での演奏とする。】
	美 術	・ デッサン用鉛筆、消しゴム（ネリ消しゴムが望ましい。）、直定規、コンパス
	家 庭	・ 裁縫用具一式、白衣又はかっぽう着、三角巾、手ふき
	商 業	・ 電卓（プログラム機能は使用できない。）、直定規
	電気・建築・工業化学・土木	・ 関数電卓（プログラム機能は使用できない。）、直定規
	インテリア	・ 一辺が20cm程度の三角定規2枚

(2) 第2次選考試験

対 象	準 備 物 等
全 員	・ 受験票
	・ 筆記用具
	・ 封筒1通（第2次選考試験結果通知書の郵送用） 長形3号封筒（窓なし12×23.5cm）に110円切手を貼り、志願者の郵便番号、住所、氏名、受験番号を明記したもの。 （第1次選考試験免除者は、あらかじめ郵送により封筒2通を提出済のため不要）
特別選考Ⅰ①又は⑦の該当者	・ 出願教科・科目に関連する勤務先の所属長等による推薦書 様式は問わないが、業務内容や勤務状況等、在勤時の様子が記載されているもの。 ⑦については（C）の該当者のみ。

注）全ての試験過程を通して、通信機能付きの腕時計を持ち込むことはできない。

令和9年度香川県公立学校教員採用選考試験 タイムスケジュール

【第1次選考試験】

7月18日(土)

月18日(土)										8:40		10:00	
特別支援	小学部 中学部 高等部	県教育センター			特支 専門 (40分)			集団面接（指定された時間）					

7月19日(日) ※小学校については、大阪会場でも受験可能です。(小専願者対象)

		7:50	8:30	8:40	10:00		11:20	13:20	15:20				
小学校※		高松 高校		受付		総合教養 (60分)		適性検査 (50分)			専門教養 (75分)		
中学校	美/技/家	高松 高校		受付		総合教養 (60分)		適性検査 (50分)		専門教養 (60分)		実 技 美術/技術/家庭	
	音/体											実 技 音楽/体育	
	上記以外												
高等学校	家	高松商 業高校		受付		総合教養 (60分)		適性検査 (50分)		専門教養 (60分)	高松高校 へ移動	実 技 家庭	
	音/体											実 技 音楽/体育	
	美											実 技 美術	
	上記以外												
特別支援 学校	小学部	高松商 業高校		受付		総合教養 (60分)		適性検査 (50分)		専門教養 (60分)	高松高校 へ移動	専門教養 (75分)	15:20
	中学部											実 技 美術/技術/家庭	
												実 技 音楽/体育	
	高等部											実 技 家庭	
												実 技 音楽/体育	
養/栄		高松 高校		受付		総合教養 (60分)		適性検査 (50分)		専門教養 (60分)			

(特別選考Ⅰの受付は、9:20～)

		8:50	9:20	9:30	10:50		13:00
小学校※ (専願)	大阪会場	受付		総合教養 (60分)		適性検査 (50分)	専門教養 (75分)

7月20日(月・祝)、21日(火)

		8:40
小/中	県教育センター	集団面接（指定された日時）
養/栄	県庁北館	集団面接（指定された日時）
高等学校	県庁北館	集団面接（指定された日時）

7月25日(土)

		8:40
小/中	大阪会場	集団面接（指定された日時）

【第2次選考試験】

8月19日(水)～22日(土)のうち、指定された1日

		8:20
小/中 養/栄	県教育センター	模擬授業 + 個人面接（指定された日時）

8月20日(木)～23日(日)、25日(火)のうち、指定された1日

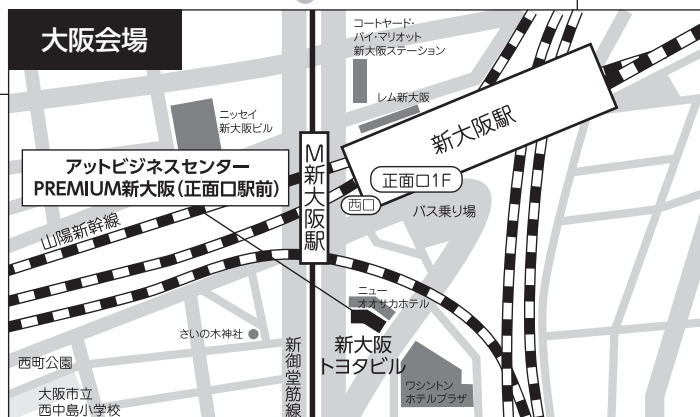
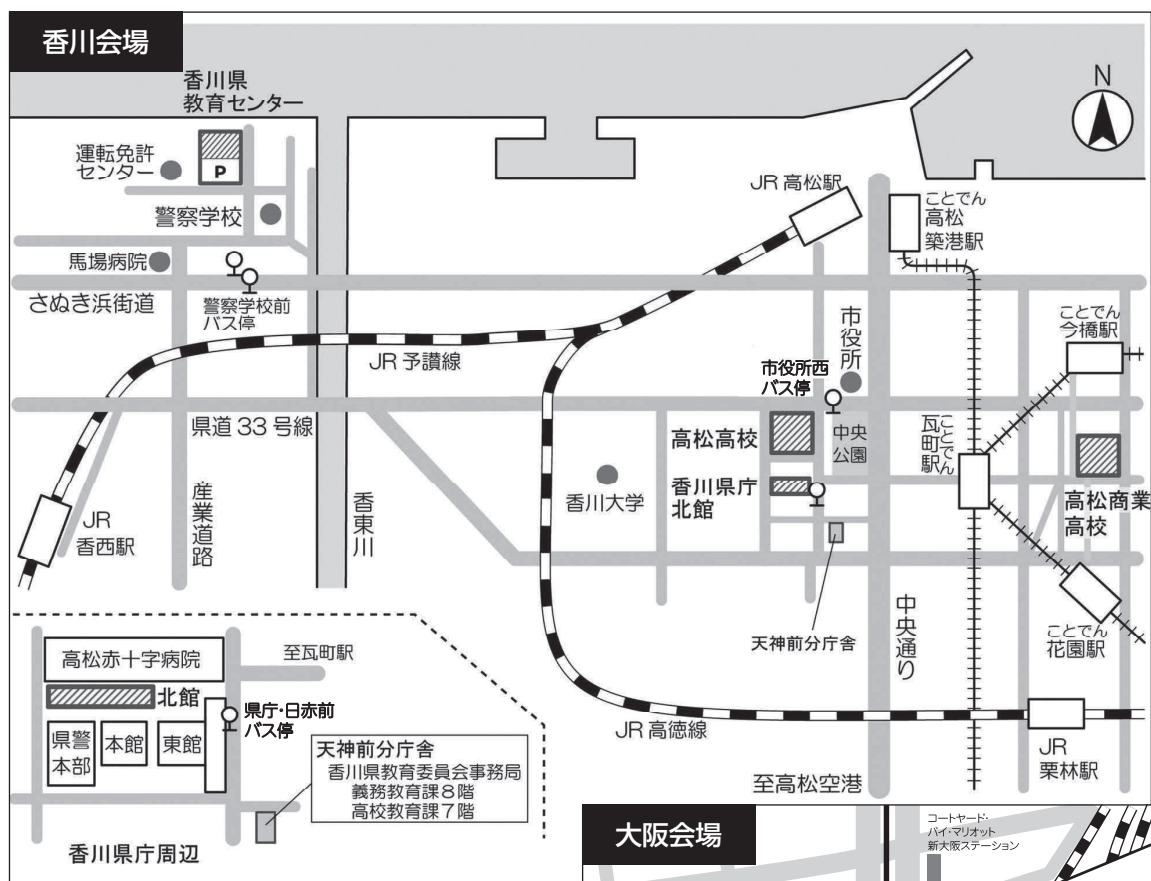
		8:20
高等学校 特別支援	県庁北館	模擬授業 + 個人面接（指定された日時）

8月23日(日)

		8:20
小/中	大阪会場	模擬授業 + 個人面接（指定された日時）

試験場の所在地

香川県立高松高等学校	高松市番町三丁目1-1 ・ことでんバス下笠居・香西線「市役所西」下車、徒歩3分 ・JR高松駅から徒歩20分　ことでん瓦町駅から徒歩15分
香川県立高松商業高等学校	高松市松島町一丁目18-54 ・ことでん瓦町駅から徒歩8分 ・ことでん今橋駅から徒歩5分
香川県庁北館	高松市番町四丁目1-10 ・ことでんバス下笠居・香西線「県庁・日赤前」下車、徒歩1分 ・JR高松駅から徒歩25分　ことでん瓦町駅から徒歩15分
香川県教育センター	高松市郷東町587-1 ・ことでんバスイオン高松線北ルート「警察学校前」下車、徒歩10分 ・JR高松駅からタクシー約15分 ※自家用車の場合は、香川県教育センターの駐車場を使用してもかまわない。
(大阪会場) アットビジネスセンター PREMIUM新大阪	大阪府大阪市淀川区西中島5-14-10　新大阪トヨタビル9階 ・JR新大阪駅(正面口)から徒歩3分



■提出書類と出願時のチェック■

【方法】 期限	提出書類	一 般 選 考	特 別 選 考 I										特 別 選 考 Ⅱ	特 別 選 考 Ⅲ	特 別 選 考 Ⅳ※	特 別 選 考 Ⅴ	大 学 3 年 生 先 行 受 験	書類等提出前のチェック
			① 民間 企業 等 経 験 者	② 本 県 ／ 他 県 元 職 者	③ 本 県 ／ 他 県 現 職 者	④ 本 県 実 習 助 手 又 は 寄 宿 舎 指 導 員 現 職 者	⑤ 本 県 講 師 等 経 験 者	⑥ 複 数 免 許 所 有 者	⑦ 一 定 の 英 語 力 を も つ 者	⑧ 国 内 の 教 職 大 学 院 修 了 者 又 は 修 了 予 定 者	⑨ 各 種 競 技 大 会 等 実 績 者	⑩ 大 学 3 年 生 先 行 受 験 通 過 者						
【電子申請】 5/28 17:00	願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	☐ 受験する種別・教科の普通免許状を所有しているか。 ☐ 取得見込みの者は、取得が確実であることを確認したか。
	【英語免除希望者】 英語に関する資格 証明の写し	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△						☐ PDF プレビュー画面で、記載事項、写真を確認したか。 ☐ 写真が正しく表示されているか。
	【特選Ⅱ志願者】 身体障害者手帳等 の写し												○					第1次選考試験（7／19（日））に原本持参
【郵送】 6/4 必着	用紙2 自己アピール文		○						○		○							☐ 事前に出願資格の有無について問い合わせたか。 ☐ A4判 表裏1枚にまとめているか。
	履歴証明書			△														過去に他の都道府県の公立学校又は国立大学附属学校、私立学校の教諭等、養護教諭又は栄養教諭の職にあった者が対象
	用紙3 受験申請書							○	○	○						○		☐ 出願資格に合った期間について勤務歴を記入しているか。
	用紙4 在職証明書							△	△	△								発令庁が香川県教育委員会でない国や市町での講師等の経験者が対象
	教員免許状の 写し	△	△	△	△	△	△	○	△	△	△	△	△					第1次選考試験（7／19（日））に原本持参 免許状に係る加点申請をする場合は提出する。
	海外留学・勤務経験 に関する証明等								△									
	教職大学院修了 証明書									○								在学中の場合は、「修了見込証明書」を提出
	用紙5 受験申請書													○				
【電子申請】 8/14 17:00	用紙1 面接カード 職歴追加用紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	第1次選考試験合格者が対象 職歴欄が不足する場合は、別途職歴追加用紙を使って作成する。
【持参】 第2次 選考試験時	勤務先推薦書		○						△									様式は問わないが、業務内容や勤務状況等、 在勤時の様子が記載されているもの。特別 選考Ⅰ⑦については（C）の該当者のみ。

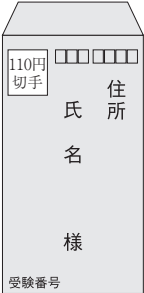
※「令和9年度香川県公立学校教員採用選考試験大学等推薦特別選考実施要項」を参照

○：必ず提出 △：該当する志願者が提出

第1次・第2次試験ともに、封筒1通を持参し提出してください。
(第1次選考試験免除者は6/4までに2通を郵送(受験番号は記載不要))

■定型封筒(長形3号)チェック■

- ☐ 封筒のサイズを確認したか。
長形3号 窓なし 12×23.5cm
- ☐ 「110円切手」を貼っているか。
- ☐ 「郵便番号」「住所」「自分の氏名」「受験番号」を書いたか。
- ☐ 敬称は「様」と書いたか。
「行」「宛」とは書かない。



出願及び受験の問い合わせ先
(月曜日～金曜日 8:30～17:00)
香川県教育委員会事務局
義務教育課 087-832-3743(直通)
高校教育課 087-832-3751(直通)

※香川県教育委員会のホームページには、
教員採用選考試験実施要項等を掲載して
います。

